

大田区と東急電鉄株式会社は新空港線整備に向けて 第三セクター(商号:羽田エアポートライン株式会社)を設立しました

大 田 区
東 急 電 鉄 株 式 会 社

大田区(区長 松原忠義)と東急電鉄株式会社(取締役社長 福田誠一)は、新空港線の整備主体となる第三セクターの発起人として2022年10月14日に羽田エアポートライン株式会社を設立しました。

今後、新空港線の事業化に向けて、羽田エアポートライン株式会社を中心となって矢口渡～京急蒲田間の検討の深度化を進めていきます。

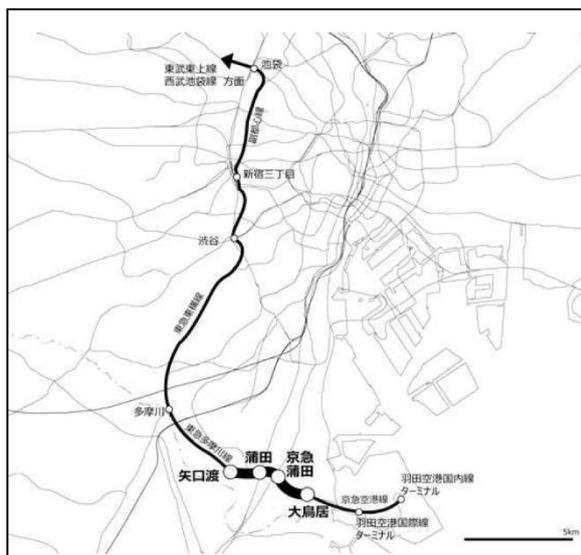
■第三セクターの会社概要

- 商 号 羽田エアポートライン株式会社
- 設立年月日 2022年10月14日
- 代表取締役社長 玉川 一二(大田区副区長)
- 事業内容 鉄道事業法に基づく第三種鉄道事業 ほか
- 資 本 金 295,000,000 円
- 出資比率 大田区 : 61% 東急電鉄株式会社 : 39%

■新空港線の概要

交通政策審議会の『東京圏における今後の都市鉄道のあり方について(平成28年4月20日付 第198号答申)』において新空港線の 신설(矢口渡～蒲田～京急蒲田～大鳥居)は、以下の意義が答申されたものです。

- ・矢口渡から京急蒲田までの先行整備により、JR京浜東北線、東急多摩川線及び東急池上線の蒲田駅と京急蒲田駅間のミッシングリンクを解消し、早期の事業効果の発現が可能。
- ・東急東横線、東京メトロ副都心線、東武東上線、西武池袋線との相互直通運転を通じて、国際競争力強化の拠点である渋谷、新宿、池袋等や東京都北西部・埼玉県南西部と羽田空港とのアクセス利便性が向上。



上) 第三セクター設立に関する協定書の調印式

左) 交通政策審議会第198号答申から抜粋した路線図